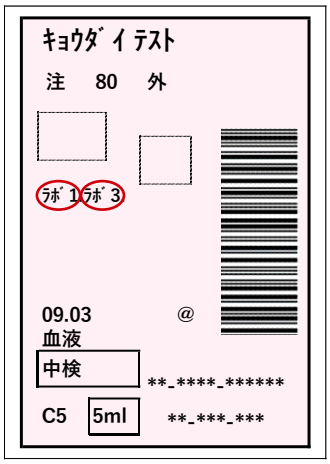
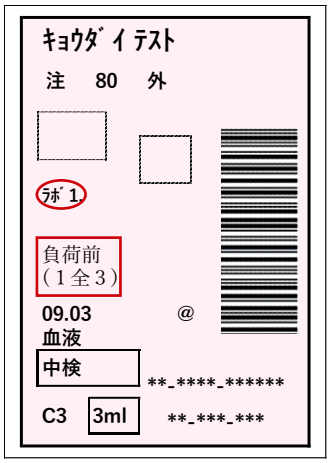
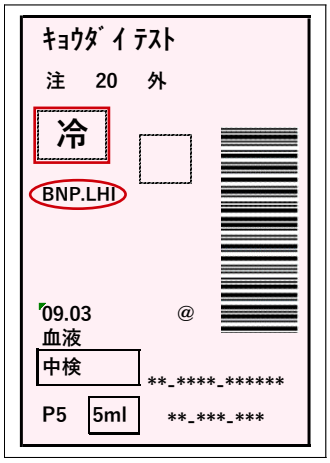
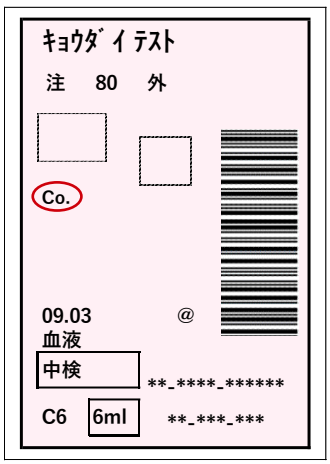
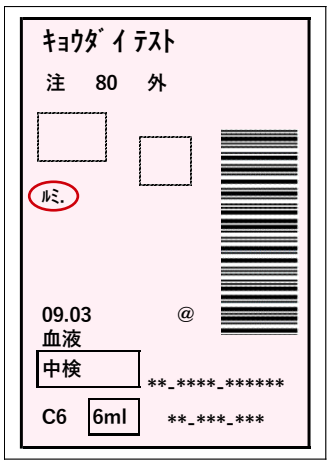
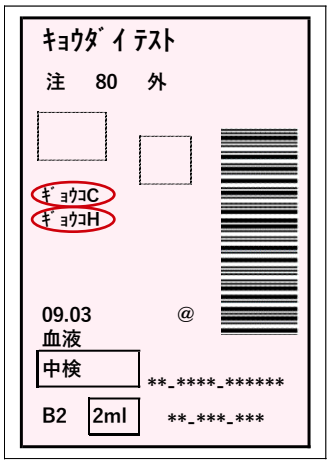
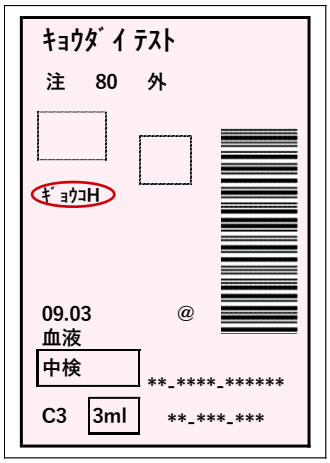
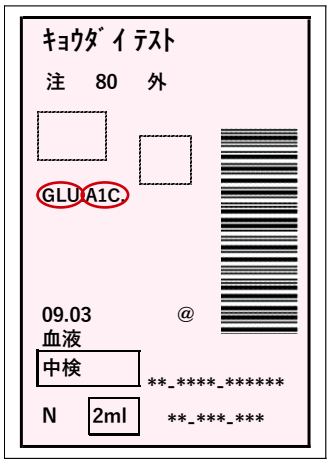
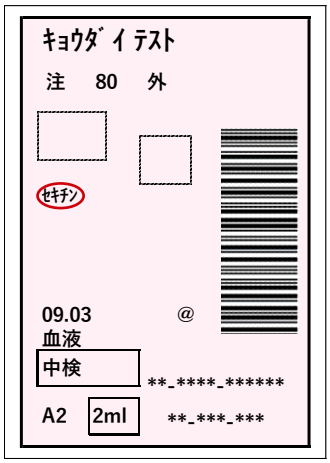
検体保存方法(院内測定検体①)

C5		ﾗﾎﾞ 1 ：ﾗﾎﾞ ｽﾍﾟｸﾄ1M(時間外機)で測定 ﾗﾎﾞ 3 ：測定後の血清を保存する RPR定性・RPR定量は血清を冷蔵保存 それ以外は血清を凍結保存
C3		※ﾗﾎﾞ 1表記であっても負荷検体は時間外では測定できないので預かり対応とする ラベルに「負荷前(1全3)」などの印字 ﾗﾎﾞ 1：血清を凍結保存
P5		BNP.LHI：冷却遠心 → 血漿を凍結保存

検体保存方法(院内測定検体②)

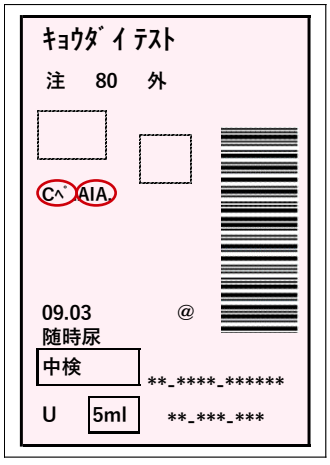
C6		AIA ：血清を凍結保存 LHI ：血清を凍結保存
C6		Co ：血清を凍結保存
C6		ﾙﾐ ：血清を凍結保存

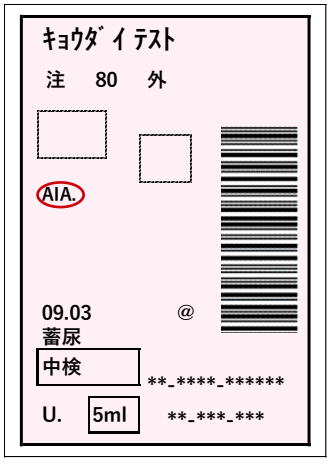
検体保存方法(院内測定検体③)

B2		ｷﾞｮｳｺC ：CN10(時間外機 or #3)で測定 ｷﾞｮｳｺH ：測定後の血漿を凍結保存
C3		ｷﾞｮｳｺH ：血清を凍結保存
N		GLU ：血漿を凍結保存 A1C ：全血を冷蔵保存 両方の依頼がある場合は, 半量(約1mL)を全血のまま分取して冷蔵保存して, 残った分を遠心分離して上清(血漿)を凍結保存する
A2		ｾｷﾁﾝ ：全血を冷蔵保存 (24時間まで保存可能)

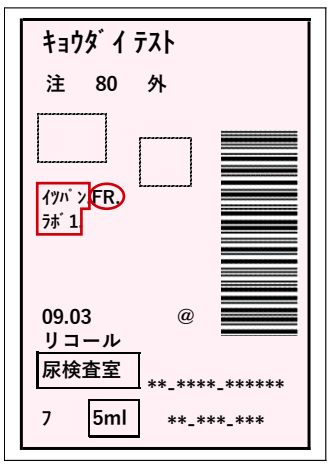
検体保存方法(院内測定検体④)

<table>
<tr>
<td rowspan="2">U</td>
<td>
</td>
<td rowspan="2">尿を遠心分離した上清を冷蔵保存

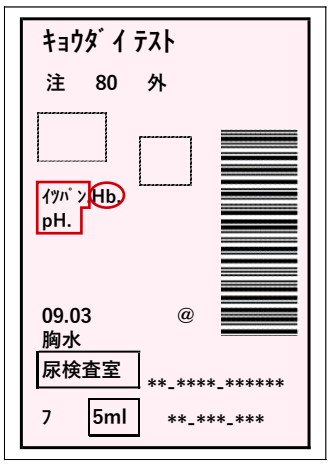
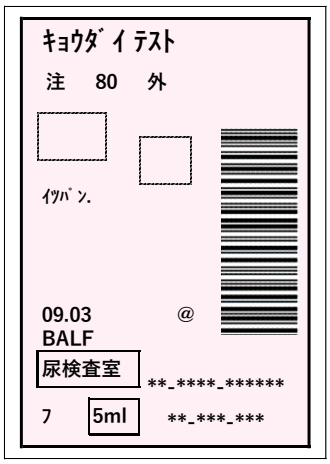
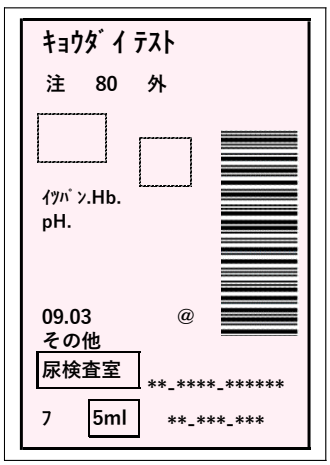
※ANHLI...の印字は, アルファベット1文字が検査1項目を表すので, 依頼項目によって文字数は異なる</td>
</tr>
<tr>
<td>
</td>
</tr>
<tr>
<td>U</td>
<td>
</td>
<td>尿を遠心分離した上清を冷蔵保存

※Cﾍﾟだけの場合もある</td>
</tr>
<tr>
<td>U</td>
<td>
</td>
<td></td>
</tr>
</table>

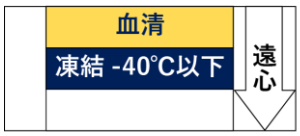
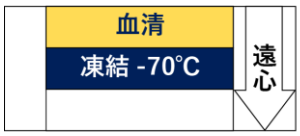
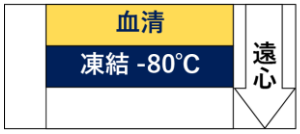
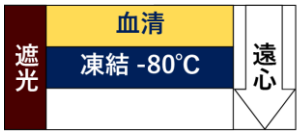
検体保存方法(院内測定検体⑤)

タ		ﾍﾞﾝﾍﾓ ：便を冷蔵保存 (1週間 安定)
フ		ｲﾂﾊﾟﾝ ：時間外で測定(XN) ﾗﾎﾞ 1 ：時間外で測定(ラボスペクト) FR ：遠心後の上清を冷蔵保存

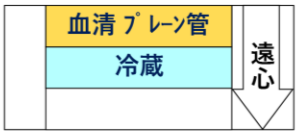
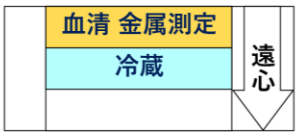
検体保存方法(院内測定検体⑥)

フ		細胞数・分画・Hb・Ph 時間外は非対応の検査 預かり検体での細胞数検査はできない可能性があることを伝えて 遠心せずに冷蔵保存
フ		※ﾗﾎﾞ1のラベルは, 検体の一部を分取して, 遠心後の上清をラボスペクトで測定する
フ		
フ		

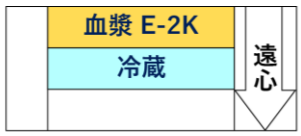
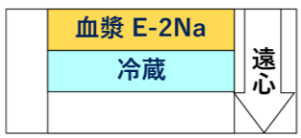
検体保存方法(血清)

	血清を凍結保存
	血清を凍結保存(-20℃以下)
	血清を凍結保存(-40℃以下)
	血清を凍結保存(-70℃)
	血清を凍結保存(-70℃以下)
	血清を凍結保存(-80℃)
	血清を凍結保存 【遮光】
	血清を凍結保存(-80℃) 【遮光】
	血清を即時凍結
	血清を冷蔵保存
	血清を冷蔵保存 【遮光】
	血清を冷蔵保存 【凍結不可】
	血清を室温保存

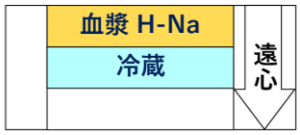
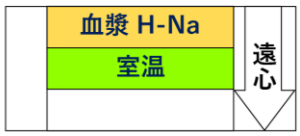
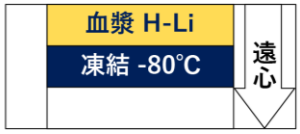
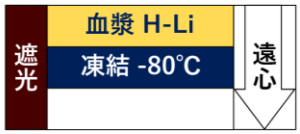
検体保存方法(血漿① / 血清) 8

		血清(プレーン管)を凍結保存
		血清(プレーン管)を冷蔵保存
		血清(金属測定用)を冷蔵保存
		血清(金属測定用)を冷蔵保存 【開封禁止】
		血清を凍結保存 【開封禁止】
		血清を冷蔵保存 【開封禁止】
		除蛋白上清を凍結保存
		除蛋白上清を冷蔵保存

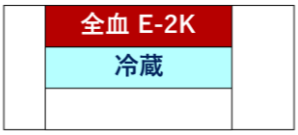
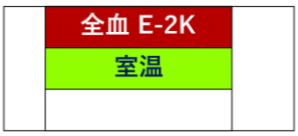
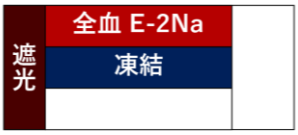
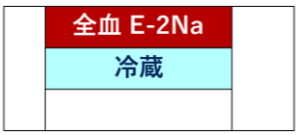
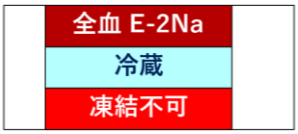
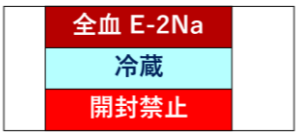
検体保存方法(血漿②)

		血漿(EDTA-2K)を冷蔵
		血漿(EDTA-2K)を冷蔵 【開封禁止】
		血漿(EDTA-2Na)を凍結保存
		血漿(EDTA-2Na)を凍結保存 【冷却遠心】
		血漿(EDTA-2Na)を冷蔵保存
		血漿(アプロチニン)を凍結保存 【冷却遠心】
		血漿(クエン酸Na)を凍結保存 【凝固検査用遠心】
		血漿(NaF)を凍結保存

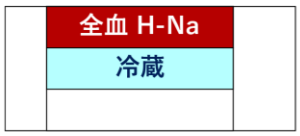
検体保存方法(全血①)

		血漿(ヘパリンNa)を凍結保存
		血漿(ヘパリンNa)を冷蔵保存
		血漿(ヘパリンNa)を室温保存
		血漿(ヘパリンLi)を凍結保存
		血漿(ヘパリンLi)を凍結保存(-80℃)
		血漿(ヘパリンLi)を凍結保存 【遮光】
		血漿(ヘパリンLi)を凍結保存(-80℃) 【遮光】
		血漿(ヘパリンLi)を冷蔵保存
		血漿(ヘパリンLi)を冷蔵保存 【遮光】
		血漿(ヘパリンLi)を室温保存

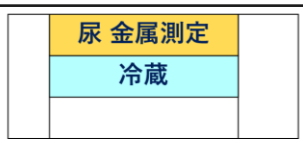
検体保存方法(全血②)

		全血(EDTA-2K)を凍結保存
		全血(EDTA-2K)を冷蔵保存
		全血(EDTA-2K)を室温保存
		全血(EDTA-2Na)を凍結保存 【遮光】
		全血(EDTA-2Na)を冷蔵保存
		全血(EDTA-2Na)を冷蔵保存 【凍結不可】
		全血(EDTA-2Na)を冷蔵保存 【開封禁止】
		全血(NaF)を冷蔵保存
		全血(クエン酸Na)を冷蔵保存

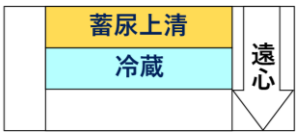
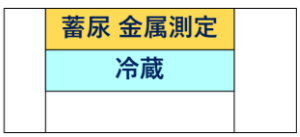
検体保存方法(尿)

		全血(ヘパリンNa)を凍結保存
		全血(ヘパリンNa)を凍結保存 【分注後凍結】
		全血(ヘパリンNa)を冷蔵保存
		全血(ヘパリンNa)を冷蔵保存 【凍結不可】
		全血(ヘパリンNa)を室温保存
		全血(ヘパリンNa)を冷蔵保存 【遮光】
		全血(保存液入り)を冷蔵保存
		全血(保存液入り)を室温保存
		全血を冷蔵保存

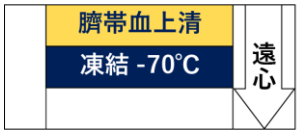
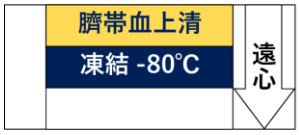
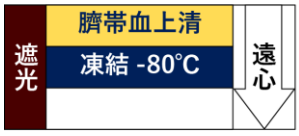
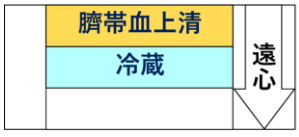
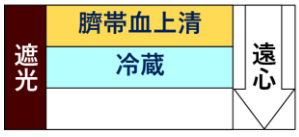
検体保存方法(蓄尿)

		尿を凍結保存
		尿を冷蔵保存
		尿を冷蔵保存 【凍結不可】
		尿を室温保存
		尿を凍結保存 【遮光】
		尿を冷蔵保存 【遮光】
		尿上清を凍結保存
		尿上清を冷蔵保存
		尿(安定化剤入り)を冷蔵保存 【凍結不可】
		尿(金属測定用)を冷蔵保存

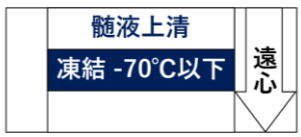
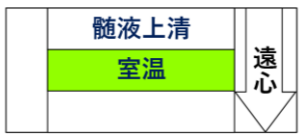
検体保存方法(蓄尿)

		蓄尿を凍結保存
		蓄尿を凍結保存 【遮光】
		蓄尿を冷蔵保存
		蓄尿を冷蔵保存 【遮光】
		蓄尿上清を凍結保存
		蓄尿上清を冷蔵保存
		蓄尿(金属測定用)を冷蔵保存
		酸性蓄尿
		酸性尿不可

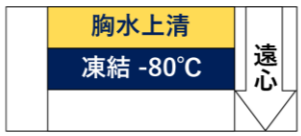
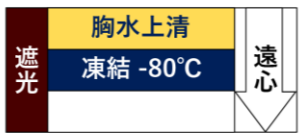
検体保存方法(便・臍帯血)

		便を凍結保存
		便を冷蔵保存
		便を室温保存
		臍帯血上清を凍結保存
		臍帯血上清を凍結保存(-70℃)
		臍帯血上清を凍結保存(-80℃)
		臍帯血上清を凍結保存 【遮光】
		臍帯血上清を凍結保存(-80℃) 【遮光】
		臍帯血上清を冷蔵保存
		臍帯血上清を冷蔵保存 【遮光】

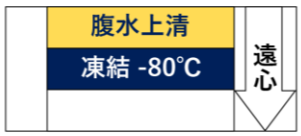
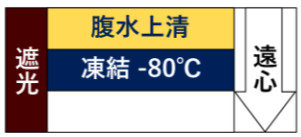
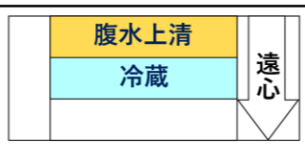
検体保存方法(髄液)

		髄液を凍結保存
		髄液を凍結保存(-20℃以下)
		髄液を凍結保存 【開封禁止】
		髄液を冷蔵保存
		髄液を冷蔵保存 【開封禁止】
		髄液上清を凍結保存
		髄液上清を凍結保存(-70℃以下)
		髄液上清を凍結保存(-20℃以下)
		髄液上清を冷蔵保存
		髄液上清を室温保存

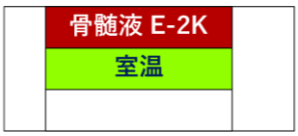
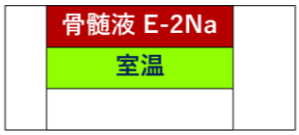
検体保存方法(胸水)

		胸水を凍結保存
		胸水を冷蔵保存
		胸水上清を凍結保存
		胸水上清を凍結保存(-70℃以下)
		胸水上清を凍結保存(-80℃)
		胸水上清を凍結保存 【遮光】
		胸水上清を凍結保存(-80℃) 【遮光】
		胸水上清を冷蔵保存
		胸水上清を冷蔵保存 【遮光】

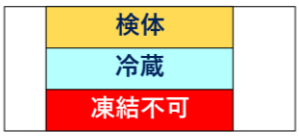
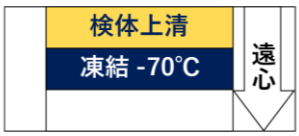
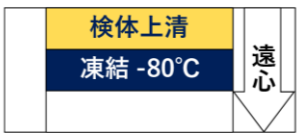
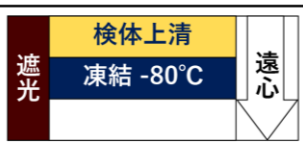
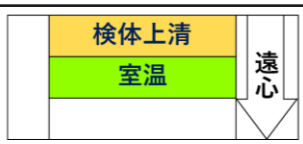
検体保存方法(腹水)

		腹水を凍結保存
		腹水を冷蔵保存
		腹水上清を凍結保存
		腹水上清を凍結保存(-70℃以下)
		腹水上清を凍結保存(-80℃)
		腹水上清を凍結保存 【遮光】
		腹水上清を凍結保存(-80℃) 【遮光】
		腹水上清を冷蔵保存
		腹水上清を冷蔵保存 【遮光】

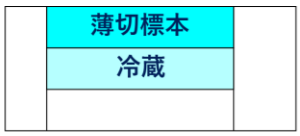
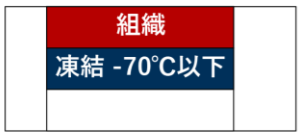
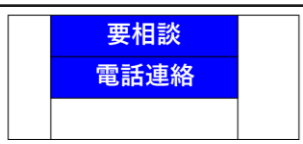
検体保存方法(骨髄液・他)

		骨髄液を冷蔵保存
		骨髄液を冷蔵保存 【凍結不可】
		骨髄液を室温保存
		骨髄液(EDTA-2K)を室温保存
		骨髄液(EDTA-2Na)を室温保存
		浮遊液を冷蔵保存 【凍結不可】
		抽出液を凍結保存
		塗抹標本を凍結保存
		呼気を室温保存
		うがい液を冷蔵保存 【凍結不可】
		結石を室温保存
		中耳洗浄液を凍結保存

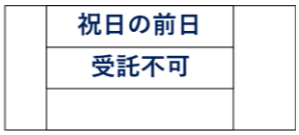
検体保存方法(他材料)

		検体を凍結保存
		検体を冷蔵保存
		検体を冷蔵保存 【凍結不可】
		検体を室温保存
		検体上清を凍結保存
		検体上清を凍結保存(-70℃)
		検体上清を凍結保存(-70℃以下)
		検体上清を凍結保存(-80℃)
		検体上清を凍結保存 【遮光】
		検体上清を凍結保存(-80℃) 【遮光】
		検体上清を冷蔵保存
		検体上清を冷蔵保存 【遮光】
		検体上清を室温保存

検体保存方法(留意事項など)

		薄切標本を冷蔵保存
		組織を凍結保存
		組織を凍結保存(-70℃以下)
		組織を冷蔵保存
		組織(中性ホルマリン)を室温保存
		詳細はWebを参照
		詳細はWebを参照(微生物検査)
		要相談 電話連絡

検体保存方法(留意事項など)

		中止項目
		24時間検査可能
		ビオチンの大量摂取による 検査値への影響の可能性あり
		祝日の前日は受託不可
		C5採血管は使用不可
		C6採血管は使用不可
		翌日保存不可